



空とは変化すること
空は無常の世界
常に変化し一定するものがない
凡も空の使者で常に吐き
わたっている。

箱ヶ森へ↑
よさこい峠

伊吹山へ

氷室まつり

平政3年、原生林の中に
現代の氷室を再現し
毎年厳冬の2月に氷室
7月に氷室をひきき氷を
お城下へ「献」がある
氷室まつりが盛大に
行なわれている。

わしが記した
寺川郷談

氷室伝説

江戸時代中期、寺川に赴任して来た番役入の
春木次郎八景則の記した「寺川郷談」(1752年)に
手箱山と云う御留山に雪屋といふいかり
氷室があり昔は毎年6月朔日に雪を取り出し
壺に詰め早稲脚で夜送した。二代藩主山内忠義の
時代(1600年代前半)まで献とされてきたと
記されている。

白猪谷
キャンプ場

川底が見える清流
吉野川特有の
青緑色の川石が美しい。
夏はテジロに注意さ
(アブ)

長沢越裏門→

県道石鏡公園線

寺川

大龍登山口からじっくり登っていく。
頂上への楽な道はないし
一直線に登る必要もない。
自分なりにマイペースでじじざくに
小休止しながら登ればいい。
そんなことを教えてくれる山道だ。

岩黒山 1745.6m

目黒め鞍郡。
石鏡山を正面に
見る。36°視界
全開。

土小屋へ

9月には
リンドウが
慈悲深清
花を咲かす

ウラジロシの純林

断崖

石鏡山
ビューポイント

土小屋-丸滝-手箱
この森ほど森林の
美しいものはない。
森はないくらい。
五ツ星★★★★★

高上山頂は360度の
パノラマが展開。
天空のオアシス。

箱と山へよじ登る
金鎖には先達の名前が
刻まれてあり深い
信仰の歴史を感じ
させてくれる。

池川、吾川方面の出身者の
名前が77ヶ所刻まれている。

氷室の氷は池川経由か?

安居からの巡礼の道

手箱越

手箱山大権現

深い谷間!!

みどろダケカバ林

山頂に近づく
としたいに邪念が
はらわれ、神聖な
気持ちになる。

具境を除くと
単独で高知県の
最高峰となる。

吾北由か?

石鏡信仰

木曾の御薙山や
大和の大峰山など
ならぶ山岳信仰地。
その歴史は古く
八、九世紀の古事記や
万葉集の時代には
すでに修業の場と
されていた。

イナヅメの所橋

林道

谷を渡る
橋を渡れ。注

分岐道

平畑地へ出る。
林道の跡

ササ深

名野川へのシンガーの印。

すばらしい
ササとフジの森

キレンゲシクマ
8月中旬

箱と山 1859.3

大山祇神社

十三の神社

手箱の石門

大澤宗覚の寺の神域
巨大な石垣の礎石に
アブを食われる思いがある。

手箱越

手箱山大権現

箱ヶ森-伊予富士一望

手箱山 1806.2m

凡神の門

山頂に近づく
としたいに邪念が
はらわれ、神聖な
気持ちになる。

具境を除くと
単独で高知県の
最高峰となる。

吾北由か?

寺川-吾北高岩間
38kmに(1923-37年)
かけて森林軌道が
整備され、国有林材が
運搬されていた。
51年頃からトラック
切りかわり65年頃に
ほぼ撤去された。
現在レールや橋台など
往時をしのばせる遺構が
残る。

寺川の深山
一帯は国有林
この広大な急峻な
山から木材を切り出し
て地橋、植林、
手入れしてきた先人の
努力と辛さに
思いをはせる。

藩政時代は
御留山だった。

氷室番所跡

ブナの天然林の中にある。

清涼な空気につかまれる。

ふりかえると四国山地

樹林を抜ける。

美しいササ原。感動ある。

氷献上の図

真夏に何十kmも
登った高知の
お城下までにはたして
どのようルートで
走って届けたのた
ろうか。

手箱山氷室物語

